



暑さに負けず、力いっぱい走ったよ!!

7月2日 東陽保育園運動会

厳しい暑さでしたが、保護者が見守る中、園児たちは日ごろの練習の成果を十分に発揮し、競技やお遊戯に取り組みました。

びほろ町

ぎかい

6月定例会のあらまし

行政報告	2P
補正予算など	3P
意見書	4P

こんなことを聞きました

一般質問 11人登壇	5P
------------	----

委員会で事務調査結果を報告しました

議会運営委員会	16P
議会改革・活性化調査研究特別委員会	16P

こんなことを決めました

5月臨時会	16P
-------	-----

議会報告会・意見交換会を開催します

議会報告会・意見交換会開催要項	17P
-----------------	-----

政務活動費収支報告

議員別使途状況を公開	18P
------------	-----

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No.245 令和4年8月1日



6月定例会のあらまし

- 【21日】会期を3日間と決定し、町長から行政報告を受け、議員4名（藤原・松浦・戸澤・木村）が一般質問に登壇し、地方創生臨時交付金、公営住宅の建替え、自治会と行政の連携、子どもが暮らしやすいまちづくりなどについて活発な議論が交わされました。
- 【22日】議員5名（馬場・伊藤・坂田・岡本・上杉）が一般質問に登壇し、自治会活動の推進、資源ごみ売却益、福祉行政、峠の湯、カラス被害対策などについて活発な議論が交わされました。
- 【23日】議員2名（稲垣・大江）が一般質問に登壇し、コロナ禍におけるイベント、給食費助成などについて活発な議論が交わされました。その後、議会運営委員会及び議会改革・活性化調査研究特別委員会より事務調査結果報告を行い、専決処分の承認、教育委員会教育長・委員の任命、動産の取得（除雪グレーダ・各小中学校用電子黒板一式・各中学校校務用端末一式）3件、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定、規約の変更3件、条例の一部改正3件、補正予算案（一般会計（第2号及び第3号））2件の計15件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。次いで、意見書案11件を可決し、7件の報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認し、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告(要旨)

◆ご寄附・ご寄贈について

有限会社 古館板金工業所様から、図書館及び学校図書購入に役立てていただきたいと100万円のご寄附をいただきました。ご厚志をありがたくお受けし、ご趣旨に沿って活用してまいります。

◆新型コロナウイルスワクチン接種について

昨年12月から3回目のワクチン接種を開始し、5月15日現在の接種終了者は12,490人、72.7%の接種率となりました。ワクチン接種希望者は概ね接種を終えたことから、民間診療所における個別接種は4月30日、集団接種は4月24日をもって終了し、国保病院は引き続き接種体制を維持しております。

4回目の接種は6月から医療従事者、7月には高齢者施設入所者の順に接種を進め、対象者には7月30日から集団接種、8月1日からは個別接種していただくことで進めております。

集団接種は、しゃきっとプラザを接種会場とし、8月6～7日、13～14日を除く毎週土、日曜日に、個別接種は、町内1病院、2医院においてそれぞれ実施する予定となっております。

引き続き美幌医師会をはじめ、各方面の皆様と連携・情報共有を図りながら、早期にそして速やかに接種を行うことができるよう取り組むとともに、検査キットの配付による検査環境の充実、手指消毒や換気などの基本的な感染対策の徹底を図り、社会経済活動にブレーキをかけず、感染拡大を抑えてまいります。

◆美幌町立国民健康保険病院の医師確保について

和歌山県立医科大学卒業で、現在、外務省在タジキスタン大使館で参事官兼医務官として勤務されている 松浦 一郎 医師（51歳）を令和4年8月1日付けで採用予定です。

松浦医師は、日本外科学会認定外科専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医の資格を有しており、採用後は外科医師として診療に当たる予定です。

今回の医師採用により、令和4年8月から常勤医師7人体制で診療に当たりますが、今後も引き続き、地域医療を守り良質な医療サービスを提供するため、必要な医師確保に取り組んでまいります。

※ その他、「職員の人事異動（4月1日付）の発令について」報告がありました。

こんなことを決めました

動 産 の 取 得

除雪グレーダ（サイドウイング付き）6,923万9,500円



各小中学校用
電子黒板一式
(小学校18台、中学校6台)
1,824万2,400円



各中学校校務用
端末一式
(ノート型コンピューター 47台
デスクトップ型
コンピューター 2台
管理用サーバー 2台
ソフトウェア)
2,209万2,400円



規 約 の 変 更

- ◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更
- ◆北海道市町村職員退職手当組合理約の変更
- ◆北海道市町村総合事務組合理約の変更
新規に加入する団体が生じたことに伴う変更

計 画 策 定

- ◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定
辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づき、田中・日並、古梅、駒生・登栄辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定するもの

人 事 案 件

- 任命に同意しました。
- ◆教育委員会教育長
矢萩 浩 氏 (再)
 - ◆教育委員会委員
小川 慶子 氏 (再)

条 例 改 正

- ◆美幌町税条例の一部改正
国民健康保険税について新型コロナウイルス感染症の影響による減免に係る対象年度の変更及び申請期限の特例を延長するほか、地方税法の改正に伴い所要の税条例を改正
- ◆美幌町介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正
第1号被保険者保険料について新型コロナウイルス感染症の影響による減免に係る対象年度の変更及び申請期限の特例を延長
- ◆美幌町公共下水道設置条例の一部改正
特定環境保全公共下水道の区域について対象区域を拡大し、美幌町公共下水道事業計画の変更を行ったことに伴う排水区の面積を改正

補 正 予 算

すべて原案どおり可決しました。
主な内容は次のとおりです。

- ◆一般会計

持続的畑作生産体系確立緊急対策事業等の実施に伴う農林水産省の間接補助	7,459万1,000円	
新型コロナウイルスワクチンの4回目接種に伴う関連経費	4,501万4,000円	
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	80万円	の増額など

11件の意見書案を可決し関係機関へ提出

令和4年6月定例会では、11件の意見書案を可決し、国等の関係機関へ提出しました。

1	中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書について	【提出先】内閣総理大臣	外
2	補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴（児）者への支援拡充を求める意見書について	【提出先】内閣総理大臣	外
3	女性トイレの維持及びその安心安全の確保を求める意見書について	【提出先】内閣総理大臣	
4	森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書について	【提出先】内閣総理大臣	外
5	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を求める意見書について	【提出先】内閣総理大臣	外
6	水田活用の直接支払交付金の見直しの中止を求める意見書について	【提出先】内閣総理大臣	外
7	食料安全保障の強化を図る新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る意見書について	【提出先】内閣総理大臣	外
8	2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書について	【提出先】北海道労働局長	外
9	地方財政の充実・強化に関する意見書について	【提出先】内閣総理大臣	外
10	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1／2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書について	【提出先】内閣総理大臣	外
11	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書について	【提出先】内閣総理大臣	外

こんなことを決めました

一般質問

一般質問には11人が登壇

■ 藤原 公一 議員 …… 5 頁

① 地方創生臨時交付金の活用

② 障がい者支援及び弱者対策

③ 不登校支援

■ 松浦 和浩 議員 …… 6 頁

① 公営住宅の建替え計画など

② 住宅リフォーム促進補助金の改正

■ 戸澤 義典 議員 …… 7 頁

① 自治会と行政の連携

② 町広報紙の配布

■ 木村 利昭 議員 …… 8 頁

① 子どもたちが暮らしやすいまちづくり

■ 馬場 博美 議員 …… 9 頁

① 自治会活動の推進

② 住民サービスの向上

■ 伊藤 伸司 議員 …… 10 頁

① 資源ごみ売却の還元

② 農村地域における上水道の現状

■ 坂田美栄子 議員 …… 11 頁

① 庁舎のバリアフリー化

② 福祉行政

③ 教育行政

■ 岡本美代子 議員 …… 12 頁

① 峠の湯びほろ

② 保健行政

③ 衛生行政

■ 上杉 晃央 議員 …… 13 頁

① カラス被害と防止策

■ 稲垣 淳一 議員 …… 14 頁

① 新型コロナウイルスへの対応

② 教育行政

③ 環境衛生

■ 大江 道男 議員 …… 15 頁

① 学校給食費助成

② インボイス制度の導入中止

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあつて最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



物価高騰対策

藤原
公一議員

答

問

町民の暮らしを守るための交付金の活用

町民の暮らしと町内事業者の活動を
守るため有効に活用したい

答 負担が増している生活者の状況や影響が懸念される経済団体等との意見交換を踏まえた取組を検討し、町民の暮らしと町内事業者の活動を守るため有効に活用してまいりたい。

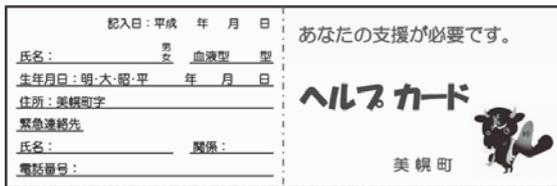
弱者への支援

周知の方法

問 ヘルプマーク・ヘルプカードの理解度を高めるための周知は。

答 定期的にホームページや広報紙を通じてヘルプカード・ヘルプマークの意味やそれを受ける際の行動についてなど周知してまいりたい。

美幌町はこの交付金をどう活用するのか。



独自のカード導入

問 意思疎通が難しい人や海外研修生にも活用できる町独自のヘルプカードの導入は。

答 美幌町が発行しているヘルプカードを、活用しやすくなるようレイアウトを含め検討したい。

手帳のデジタル化

問 デジタル障害者

手帳はポロポロになることを防ぐことができ、アプリを活用することで割引なども受けられるが、美幌町での導入は。

答 法律に基づいて北海道が発行しているため、町独自の発行は考えていないが、カード化した場合のアプリの活用方法などを研究してまいりたい。

不登校支援

児童生徒への支援

問 不登校の把握と不登校児童生徒への支援は。

答 担任教諭からの電話連絡や家庭訪問の実施、教育相談室やスクールカウンセラーの相談、教育相談室のサテライト教室を通じて悩みごと

家庭教育支援

問 アウトリーチ型家庭教育支援の取組状況は。

答 施設を活用した学習支援を実施しているが、今後、関係部局ともしっかりと情報共有しながら必要な支援策を検討してまいりたい。



一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



住宅設備 問 公営住宅の建替え計画について

松浦 和浩 議員

答

町民の利便性が高い地区の建て替えを行い、可能な限りご希望に添えるよう取り進めてまいりたい

ることに対し、仲町

団地入居者との合意 確認は行ったか。

答 「美幌町公営住宅等長寿命化計画」

策定に当たりアンケート調査を行っており、可能な限りご希望に添えるよう取り進めてまいりたい。

問 4月18日現在、

南団地40戸、美富団地24戸の空室が発生しているが、空室対策及び美幌町全体の公営住宅の戸数計画について。

答 エレベーター設備が無い住棟に空室が多く、高齢者等の住み替え希望と合わないことから空室が解消されない状況で

問 仲町団地は病院に近く、入居者は高齢者の割合が高いと思われるが、建替え計画で30戸を現在地、30戸を旭団地に建設する理由と効果は。 答 買い物などに便利な環境を希望する方もいることから、現在入居希望者が多く、利便性の高い旭団地に建替え後も一定の入居希望があると考え。 問 生活環境が変わ

ある。戸数計画については、今後の社会経済動向の変化によって5年ごとに見直す。 問 美園団地についても建替え計画があるが、建設推進要望のある街中での借上げ公営住宅での対応が可能であると考え。どのように取り進めているのか。 答 美園団地は買い物等の利便性も高く、平屋建てへの入居希望を求める声もあるため、建替えを計画している。公営住宅の供給には様々な手法があるため、今後検討してまいりたい。 問 各団地の家賃の

算定基準はどのようになっているのか。また、建替え後の美園団地の家賃は値上がりするののか。

答 公営住宅法に基づき家賃の算定を行っており、建設費、経年劣化等が加味されている。また、建替え後の美園団地の家賃は値上がりするが、入居開始後5年間は激変緩和の措置を講じ、急激な負担増とならないようになっている。

住宅リフォーム補助金制度

問 住宅リフォーム促進補助金制度導入から12年目となり、既利用者の再度の利用も必要であると思いが、見直しの検討は。 答 利用者アンケートにも要望があるこ

とから、現在行っている制度の見直しの中で検討してまいりたい。

問 リフォームの補助限度額は50万円と なっているが、資金に余裕のある方とない方との平等性はあ るのか。また、住宅設備改善事業助成(高齢者・障がい者対象)との統合を図り、定額からのリフォーム補助制度への検討は。 答 リフォームの補助対象工事費については、「使いやすい制度」の視点から下 限額の見直しも含め て現在検討している。また、住宅設備改善事業との統合については、制度により補助の目的が異なるため考えていない。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



自治会問 自治会と行政の連携について

戸澤 義典 議員

答

自治会連合会と意見交換、情報共有を行いながら自治会の主体性を尊重した支援を実施する

として環境の変化にどのように対応してきたのか。また、今後どのように支援していくのか。

問 自治会はこれまでのまちづくりに一定の成果を出してきた社会資源であり、行政とのパイプ役、行政サービスの一端を担い、行政の効率性も図っている。しかし、社会構造が大きく変わり、全国一律的な自治会活動では立ちいかなくなっている事実もある。美幌町においても様々な課題を抱えていると思うが、行政

答 これまで環境変化への対応については、自治会連合会と常に情報を共有しながら、側面的な支援に努めており、自治会との懇談の中で現状とニーズの把握を行うとともに、その課題解決に向けた方法の検討を重ねてきている。これまでの具体的な支援として、防犯灯や集会室のLED化、集会室の備品整備のための補助金の創設、自治会連合会の部会費に係る

自治会の事務軽減、全自治会の活動保険を町負担で一括加入、全集会室に空気清浄機の導入又は導入費の補助を実施している。また、令和4年度からは資源ごみ収集に対する自治会還元金に新たに段ボールなどの紙類を加えるなど、運営内容の変換や自治会活動の拠点となる施設整備等により、活動の活性化が図られるよう支援を行っている。今後においても、自治会連合会と意見交換、情報共有を行いながら、自治会の主体性を尊重した中で必要な支援について

タイミングを逃さぬよう実施してまいりたい。

町広報紙の配布

問 美幌町広報紙発行規則では、配布方法について具体的に記載されていない。美幌町として、全世帯に配布するためにどのような方法をとられているのか。また、昨今ペーパーレス化が進み、美幌町においてもDX（デジタルトランスフォーメーション）計画を推進していると思うが、今後広報紙の配布方法の見直しについての町長の考えは。

答 現在、町広報紙については、町広報用パンフレットラックを町内大型スーパー3店舗の協力を得

て設置しているほか、公共施設でも配布している。情報社会の進展により情報をお届けする媒体は多様化しており、広報紙についても紙に限らず、それ以外の方法も必要と考えている。今後においても継続して情報収集を続け、将来的な手法の見直しについて検討していきたい。



一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



子育て・教育

問

木村 利昭 議員

答

次世代を担う子供への支援について

地域に貢献し、地域を担っていく人材の育成を
目指し、より効果的な支援を取り進める

済の支え手となるこ
とでまちの活力を維
持することを目的と
した考え方である。

その目的を果たすた
めには、「子供たち
が元気で郷土愛を感
じてもらうこと」、
「子供たちが安心し
て教育を受けられる
環境」がとても大切
であることを踏まえ、
以下4点について今
後の美幌町の考え方
は。①子供たちのコ
ミュニケーションの
場づくりについて②
子供たちが郷土愛を
感じる教育について

③障がいを持つ子供
たちが美幌町に住み
続けることができる
支援について④美幌

高校の魅力化支援に
ついて

①子供のコミュニ
ケーションの場づ
くりについては、教
育委員会社会教育課
で様々な学びを通し
て各個人が成長して
いくことを主眼とし
た事業を実施してい
る。このような活動
は、同世代・異世代
との協働や交流を通
じて自分自身を高め
るだけでなく、コミ
ュニケーション能力
の習得につながると思われ、今後も継続していききたい。

②子供たちが郷土愛
を感じる教育につい
ては、学校で道徳や
総合的な学習の時間

に、美幌町の自然や
産業などについて博
物館学芸員や地域の
実践者などの外部講
師を活用しながら学
んでおり、今後にお
いても継続して取り
組み、地域の人材・
資源を活かした探究
的な学習を行い、地
域に貢献し、地域を
担っていく人材の育
成を目指してまいり
たい。

③障がいを持つ子供
たちが美幌町に住み
続けることができる
支援については、児
童発達支援や放課後
等デイサービスなど
の障がい児通所支援
事業、居宅介護支援
や障がい者就労支援
などの障がい福祉サ
ービスを行っており、
障がい児がQOLを保ちつつ、健全で明るく生きがいを持つ

た生活を送ることの
できるよう支援体制
の整備充実を今後も
進めてまいりたい。
④美幌高校の魅力化
支援については、昨
年度から地域みらい
留学制度などで道外
から入学した生徒を
対象にした帰省費補
助や外部アドバイザ
ーを活用した魅力化
サポート事業による
新たな支援、オンラ
イン授業であるスタ
ディサプリ利用料補
助の拡大などをして
いる。しかしながら、
今後も中学校卒業者
数の減少が続くこと
から、生徒の確保に
ついて美幌高校や美
幌高等学校教育振興
対策協議会とも協議
した上で、より効果
的な支援を取り進め
てまいりたい。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



馬場 博美 議員

補助金創設

問

自治会提案に対する町補助金の創設

補助金以外で自治会が柔軟に対応できる収入の拡充方法を検討する

答

案する全ての事業が補助されるようにすべきと考えるが、町長は自治会提案に対する町補助金の創設についてどのように考えるか。

問 現在美幌町には67自治会があるが、自治会の加入率も年々減少し、現在加入率は約69%である。このことにより、自治会費を値上げしないと自治会運営ができないことから、町は令和2年度に各自治会に対する補助金を見直した。自治会活動は、地域コミュニティを推進するため大きな役割を担っており、自治会が提

案 現在、町内の自治会において主体的に様々な地域コミュニティ活動が活発に行われているが、財政面の課題もあり令和2年度に運営補助金の見直しを行った。新たな補助の制度化は行政からのアプローチとなり、特に自治会活動のような継続して行われる活動への補助は、活動の主体性を損なわせてしまう可能性もある

ことなどから慎重に行わなくてはならないと考えている。現在、新たな補助制度の創設は考えていないが、今後も補助金以外で自治会が柔軟に使用できる収入の拡充手法について引き続き検討してまいりたい。

住民サービスの向上

職員の数確保

問 令和3年4月1日から美幌町組織機構及びグループ制を全面的に見直して1年が経過した。このような中、住民に対するさらなるサービス向上を図るため、以下4点について町長の考えは。①年々

減少する職員数と職員定数条例の職員定数との差について②グループ制の見直し現状③職員定数条例の職員数及び新規採用の考え方④窓口業務担当職員の研修等の実施状況⑤フルタイムの会計年度任用職員の配置について

ものと考えている。③将来にわたって安定的かつ継続的な行政運営を行っていくために必要な職員数を一定数確保し、業務量に応じた適正な職員数を常に把握して職員を採用してまいりたい。④窓口を担当する職員に限った研修は実施していないが、美幌町職員人材育成基本方針に基づき、実践的で細かな指導・育成に取り組んでいく。⑤組織として最適と考える任用・勤務形態の人員配置を行う必要があると考えており、今後も行政サービスの安定的かつ継続的な提供に努めてまいりたい。

一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



ごみ・水道

伊藤 伸司 議員

資源ごみ売却に伴う益金の町民への還元

リサイクル意識の向上対策を推進し、適切な益金の運用に努めたい

問 美幌町では「美幌町一般廃棄物処理基本計画書」を策定し、廃棄物の抑制、循環型社会形成の推進と適正処理に努めているが、美幌町の1人1日当たりのごみの排出量は北海道の目標値を上回り、リサイクル率は北海道の目標値を大幅に下回っている。町民のごみに対する更なる意識改革を図り、リサイクル率向上の

ための今後の対応策は。また、資源ごみのリサイクルによって生まれた益金について、持続可能な循環型社会形成のために次世代を担う子供たちのために活用することが必要であると考え、町長の考えは。

答 リサイクル率向上のための今後の対応策については、これまで実施している地域や学校へのまち育出前講座の強化、ごみ分別辞典の見直しやごみ分別アプリの普及を推進し、リサイクル率の向上に努めたい。資源ごみのリサイクルによつ

て生まれた益金については、ごみ処理にかかる経費に対する財源の確保が最重要と考えており、リサイクル意識の向上対策を推進しながら今後も適切な益金の運用に努めていきたい。



農村地域

飲料水供給対策

問 農村地域における上水道給水区域以外の方々の飲料水について、対策の現状と美幌町としての考え方は。

答 上水道給水区域以外の飲料水対策の現状としては、既設配水管から遠く離れたおり、また住宅が点在していることにより多額の事業費を要するなど条件が厳しい地域であることから水道事業計画を持つていないため、家庭用浄水器を設置する補助制度を設け、浄水器利用による井戸水の衛生確保に努めている。飲料水対策は、地域の要望や現状を把握し、様々な検討が必要と考えるが、今後更なる人

口減少に伴う使用料収入の減少、老朽化の進行による更新費用の負担増加、東日本大震災を踏まえた危機管理対策耐震化など、水道事業をとりまく環境が一層厳しくなることが懸念されていることから、現時点では給水区域を拡大していく予定はない。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



庁舎のバリアフリー化

問

役場庁舎のバリアフリー化は

坂田 美栄子 議員

答

利用者の安全に配慮し環境整備と利用者の視点に立って対応したい

問 正面玄関から庁舎に出入りしてみると、段差があるため車いすでは乗り越えることができなかった。また、地下入口のスロープも撤去され、車椅子の方が自力で出入りすることができない状況にある。すべての人が何の支障もなく利用できる庁舎であるべきと考えるが対応策は、

答 車いす使用に對しては、乗降時や移動時の安全に配慮し車両の通行がなく建物に最も近い位置に車いす専用駐車場を整備した。また、工事の完了に伴い、しやつきとプラザ側の車いす専用駐車場側からの動線が確保されたことから仮設スロープを撤去し車いす専用駐車場を利用していただくこととした。正面玄関前は歩行者と車両との動線を分けることで僅かな段差が生じているため緩衝材を設置することで利用者の安全に配慮し環境整備していく。今後利用者との視点に立ち、必要に応じた対応を

してまいりたい。

児童虐待の防止

現状と課題は

問 児童虐待には身体的虐待のほか心理的虐待の事例が増えている。家族以外の大人が子ども様子のなどに気づくことができる機会が多いのは保育所や幼稚園、学校であると考えが美幌町の現状と課題は。

答 虐待の通告や疑いの情報があったときは連携して迅速に対応できるように関係機関の担当者が情報交換、今後の支援策を協議し、保護者との面談や内容によっては児童相談所へ一

時保護などの措置をとっている。

児童虐待を発生させないためには、未然防止の取り組みが重要であることから、各部局間と連携を図り、地域住民、関係機関の協力のもと、早期発見に努め児童の安全確保を第一に迅速かつ的確な対応を行うてまいりたい。

読書習慣づくり

障がい児への取組

問 障がいがある子を含めた児童・生徒が読書習慣を身につけるための取り組みは。

答 家庭・幼児機関・学校・児童機関・図書館がそれぞれの活動の中で取り組んでいる。既存事業の充実を含め読書習慣を身につける取り組みを継続したい。

今後も障がいの有無を問わず、乳幼児期から幼児期、少年期へと切れ目のない子どもたちの読書習慣を形成できるように、引き続き関係機関との連携と創意・工夫により、図書館司書を中心に読書の大切さを広く伝え、本を好きになる子どもが一人でも多く増えるよう取り組んでまいりたい。



一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



峠の湯 問 峠の湯の安全対策は

岡本 美代子 議員

答 試行を重ねながら安全対策を講じたい

問 建築後20数年経過し、利用者も年齢を重ねて足腰が弱り浴場内の移動に不安があると聞いているが、手すり等を増やす考えはないか。また、近隣の温泉施設のように、洗い場の間に仕切り板等を設置する考えはないか。

答 指定管理者の適切な維持管理のもと、昨年の休業期間中に床面の汚れを洗浄し、スリップ防止剤を塗

布したところ、一定の効果を得られた。今年の休館中も床面の表面を研磨するなど試行を重ねており、指定管理者において安全対策を講じた運営を行っている。手すりの設置については、浴場内の動線上に設置する壁が少なく、床から立ち上げると転倒事故等が発生することが考えられることから、指定管理者において適宜点検のうえ、安全対策を講じてまいりたい。

洗い場の間仕切り板は、当初から設置を想定した設計ではないため、洗い場の

敷を確保する関係から設置は難しいと考えるが、シャワー利用時のマナーについて貼り紙を掲示するなど注意喚起に努めていただくよう指定管理者と協議してまいりたい。



不妊治療支援

費用の助成は

問 令和4年4月、国は、経済的な負担軽減のため不妊治療への保険適用を拡大したが、基本的には高額な治療である。北斗市では交通費なども含め自己負担分を全額助成しているが、美幌町ではどう検討しているか。

答 保険適用治療費の3割が自己負担となり、適用外の治療費は全額自己負担となるなど、金銭面での負担が増加することから、何らかの支援が必要と考えている。全道の取組状況を参考にしながら、必要な支援を図ってまいりたい。

合同納骨塚

墓誌の設置は

問 近隣市では納骨塚に故人の氏名を表示する墓誌を設置したところ、希望者も多く増設を検討している。美幌町では、合同納骨塚の墓誌設置について、利用者アンケート調査したようだが、その後の経過は。

答 本年1月に対象者99件にアンケートを送り、66人から回答をいただいた。墓誌への氏名掲示について、有料でも希望するが41人で62パーセント、希望しないが25人で38パーセントであり、一定のニーズがあると判断し、年内に設置する考えであるので、理解願いたい。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



カラス対策

カラス被害への防止策は

上杉
晃央 議員

答

有害鳥獣として許可に基づいて捕獲するほか、ごみ出しルールの徹底による自衛策

あるためのようである。

私も生ごみを入れた指定ごみ袋にコンテナを被せて出したところ、コンテナの

隙間から鋭いくちばしで袋を破られ生ごみを食い散らかしたり、くちばしでコンテナを持ち上げられ

広範囲に散乱された経験があり、近所でも同様の光景を散見している。このよう

な場合、収集作業の方は散らかったごみを集める作業を余儀なくされ、収集作業

にも影響があると思われる。

夕方には何百羽のカラスの集団が電線

にとまり、フン害や鳴き声がひどく、襲撃されそうになったとの声も町民から聞いている。

ごみ処分場周辺では農作物の被害も発生している。

町としてカラスによるごみ被害や農業被害を把握しているか。また、町民からの苦情の実態と現在の防止策は。

答 自宅前のごみを散らかすという苦情は昨年度は4〜5件把握している。繁殖・子育て期には、卵やヒナを守るため攻撃的な行動に関する苦情が寄せられており、町民の安全確

保のため、昨年度、巣を20個撤去、卵を30個、ひな鳥を32羽捕獲した。

J Aびほろが行った有害鳥獣被害調査によると、令和3年の被害面積は2・4ha、被害金額は160万円となっており、登栄のごみ処分場では箱わなを2カ所に設置し、年間500羽程度捕獲している。

ごみ処分場周辺宅には、追い払い用のロケット花火を配付している。

カラスに限らず野生の鳥獣は、人と動物との共生を目的とする「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」により、原則保護の対象であるが、野生の鳥獣が人の生活環境を悪化させる場合などには

有害鳥獣として、町長の許可を受けたうえで捕獲できることになっている。

捕獲以外の対策として、蓋つきのごみボックス、ネット・コンテナ等の使用やごみ出しルールの徹底などの自衛策をお願いするほか、町民からの依頼や街路樹などのパトロールを通して巢などの撤去による被害防止を図ってまいりたい。

有害鳥獣として、町長の許可を受けたうえで捕獲できることになっている。

捕獲以外の対策として、蓋つきのごみボックス、ネット・コンテナ等の使用やごみ出しルールの徹底などの自衛策をお願いするほか、町民からの依頼や街路樹などのパトロールを通して巢などの撤去による被害防止を図ってまいりたい。

有害鳥獣として、町長の許可を受けたうえで捕獲できることになっている。

有害鳥獣として、町長の許可を受けたうえで捕獲できることになっている。

有害鳥獣として、町長の許可を受けたうえで捕獲できることになっている。

有害鳥獣として、町長の許可を受けたうえで捕獲できることになっている。

有害鳥獣として、町長の許可を受けたうえで捕獲できることになっている。



一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



コロナ対応

問

コロナ禍におけるイベント開催

稲垣

淳一議員

答

様々な角度から手法を検討し開催の可能性を探りたい

問 新型コロナウイルス感染症の影響により非日常の暮らしを余儀なくされ、各種イベントが盛んな美幌町でも中止が発表されているが、今年もこのまま耐えてやり過ぎすのか、積極的に対策を打っていくのか。

答 開催に向けイベント主催者が様々な検討をした結果、参加者等の安全を最優先に考えて中止や縮

美幌高校魅力化

報徳寮の改修

小を決めている。感染状況を考えると止むを得ないが、町民の生活、地域経済への影響を考慮し、基本的な感染対策との両立により社会経済活動を回復させなければならぬ。一部イベントでは代替案を検討していると聞いており、町も必要な支援策を講じたい。様々な角度から手法を検討し、開催の可能性を探ってまいりたい。

問 地域みらい留学

制度を活用し道外からの入学があったが、男子寮しかないため、

女子生徒は下宿生活を送っている。居住先が見つからず入学をあきらめた生徒もいると聞くが、寮の新築または改築に向け道教委と交渉を進めていくべきでは。また、人材育成の場として美幌高校を盛り上げていくべきでは。

答 寄宿舎確保が不十分なため、女子生徒受入れに苦慮している。女子生徒受入れに向け報徳寮の改修を道教委に相談しており、町としても

具体的な支援可能な手法を検討している。また、生徒が行きたい、保護者が行かせ



ごみの広域処理

広域協議の状況

たいと実感できる魅力アップによる生徒確保は大きな課題であり、関係機関と連携し、より効果的な支援を取り進めてまいりたい。

問 一般廃棄物広域

(中間処理) 施設建設に向け、①施設の建設場所と内容。②

1市4町(網走市、大空町、斜里町、小清水町)の足並みが揃っていないとの報道について。③施設建設が予定どおりにいかない場合は。

答 ①現在焼却施設を有し、地理的にも中間にある大空町を第1候補地として検討しており、焼却炉を建設することを協議している。②担当者会議においては、これまでの協議どおり、令和10年度の供用開始に向け、1市4町で進めていくことを確認している。③他の自治体も埋立処分場がひっ迫しているため、構成自治体の増減があったとしても、広域中間処理施設の建設をしなければならぬと考

えている。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



学校給食問

大江 道男議員

答

物価高騰による学校給食への影響

保護者負担を求めず

食材費の追加予算措置が必要と認識

るよう努めている。今後価格高騰が続くと見込まれるが、保護者負担を求めず食材費の追加予算措置が必要であると認識している。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した学校給食費無償化を行うべきでは

答 交付金は限定的なものであることから無償化は考えていないが、食材費の追加予算措置の際には補正財源として活用する考え。

問 全国的に学校給食費の無償化（一部助成）が広がっていることを考慮し、美



インボイス制度

町長の見解は

問 売上が数十万円

であつても消費税を支払わなくてはならず、フリーランスや個人事業主にとつて死活問題となるが、町長の見解は。

答 国が進める制度であるが、美幌町は商工会議所や税務署と連携し、町内事業者に情報提供を行い、国とともに制度の周知に努めたい。

該当事業所数は

問 町内に年間売上が1千万円以下の消費税免税事業者はどれくらいあるか。各団体等の声は届いているか。

答 公表されているものがなく把握できないが、平成26年度経済センサスによると従業者5人以下の

小規模事業者は580事業所であり、相当数になると思われる。商工会議所が国に再検討を要望していると聞いている。

人材センターは

問 シルバー人材センターの会員は消費税法上、事業者として扱われセンター利用には消費税がかかるが、美幌町シルバー人材センターでの消費税の金額はどの程度で、誰が支払うのか。

答 確認したところ、令和3年度決算における配分金額より消費税額は200万円程度になると思われる。支払いについては、制度への対応を道シルバー人材センター連合会が検討しており、その結果に準ずると考えている。

委員会の事務調査結果を報告しました

議会運営委員会（要旨）

委員長 馬場博美

6月定例会において、議会運営委員会（馬場、戸澤、岡本、上杉、高橋）が事務調査結果を報告しました。その概要をお知らせします。

- 議会の活性化について
 - ・町民生活に重大な影響を及ぼす重要な施策・課題については、全員協議会や常任委員会で協議したうえで、地方自治法に基づいて学識経験者等の専門的知見を活用する。
- 開かれた議会について
 - ・町民生活に重大な影響を及ぼす議案及び政策課題については、町民アンケートを実施する。
 - ・各常任委員会の事務調査に係る協議経過や中間報告を議会ホームページ等に掲載するとともに、議会に関心を持ってもらうため、ホームページにインターネット閲覧件数や今日のスケジュールを掲載する。
- 広報・啓発について
 - ・通年掲載のポスターを作成し、公共施設等に掲示して議会開催の啓発をする。

議会改革・活性化調査研究特別委員会（要旨）

委員長 岡本美代子

6月定例会において、議会改革・活性化調査研究特別委員会（岡本、馬場、坂田、古舘、大江、松浦、上杉、高橋、戸澤、稲垣、伊藤、藤原、木村）が事務調査結果を報告しました。その概要をお知らせします。

- 議会のICT化について
 - ・会議資料等をペーパーレス化することで、会議の迅速・効率化、文書管理の効率化を図るとともに、議会活動等の活性化、円滑な議会運営を図り、より開かれた信頼される議会を目指す。
- 議会の活性化について
 - ・議会は多様な民意を反映させ、政策立案や監視機能を効果的に発揮することが求められており、定数削減することで議会活動に支障をきたすことも想定され、安易な削減は議会の弱体化に繋がる恐れがあることから、現状維持の14人が適正であるとの結論に達した。
 - ・本町においては自治基本条例が制定されており、その中で議会について規定されていることから、必要に応じて自治基本条例を改正すべきであり、自治基本条例では不都合であるという明確な理由が生じたときに議会基本条例の制定の是非を検討することとした。
 - ・若年層や多様な人材を広く求めるためには報酬の増額が望ましいが、現時点での町の財政状況等を踏まえると増額は困難であり、現状維持が望ましいとの結論となった。特別委員会委員長、各副委員長への報酬支給も同様とした。
 - ・町民から意見・提言などを幅広く聴取し議会運営に反映する議会モニター制度の導入に当たっては、具体的な活動やメリット・デメリットなどの課題等について時間をかけて調査検討すべきとの意見で一致し、議会運営委員会による継続調査事項として取り扱うこととした。
 - ・各委員会のインターネット中継及び会議録のホームページ掲載について、積極的に公開していく必要があるが、非公開事項の取り扱い等の課題を整理しなければならないことから、今後、先進地視察など調査検討を行ったうえで実施する。

5月臨時会

すべて原案どおり承認、可決、報告完了しました。
主な内容は次のとおりです。

専決処分の承認

- ◆令和3年度美幌町一般会計補正予算
町道除排雪作業等に急を要したため
- ◆美幌町税条例の一部改正
国民健康保険税の課税限度額及び固定資産税・都市計画税の負担調整措置の改正
- ◆令和3年度補正予算（一般会計・特別会計）
起債事業費の確定に伴う会計処理等

動産の取得

- ◆グラップル付き油圧ショベル（中古車両）

補正予算

- ◆病院事業会計
・小児科医師の確保に伴う予算の組替え

専決処分の報告

- ◆町道1号道路歩道上の車両破損事故による損害賠償
- ◆美幌町立北中学校敷地内の車両破損事故による損害賠償

こんなことを決めました

議会報告会・意見交換会を開催します

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い2年間中止にしておりました議会報告会・意見交換会を3年振りに開催します。

夜の部の意見交換会はオンラインでの参加も可能ですので、町民皆さまの生の声をお聞かせください。

- 日時 令和4年8月29日（月）
【昼の部】午後1時30分～ 【夜の部】午後7時00分～
- 場所 【昼の部】東町集会室 【夜の部】しゃきっとプラザ集団健診ホール
- 内容 各常任委員会の活動内容の報告
意見交換会「若手・女性議員を増やすためには!？」
- その他 夜の部の意見交換会（午後8時30分開始）のみZoomによる参加が可能です。希望される方はメールにて議会事務局までお申し込み願います。（ミーティングID、パスワードをお送りします）
・申込期日 令和4年8月19日（金）
・メールアドレス gikai@town.bihoro.hokkaido.jp
・お問合せ先 議会事務局 TEL 0152-77-6559（直通）



～生の声をお聞かせください～

※新型コロナウイルス感染症の状況により、やむを得ず中止する場合がありますので、ご了承願います。

～ 地方自治の振興に功績 ～

地方議会議長として7年以上在職し、地方自治の振興に貢献された功績により、北海道町村議会議長会から永年勤続表彰を受けられた大原昇議長に対し、6月定例会開会前に表彰状の伝達が行われ、「議員、職員の協力と理解のおかげ。町民に不利益を与えない議会を目指したい。」と謝辞を述べました。



議会を傍聴しませんか

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、議場入口にある受付票に住所及び氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

9月定例会は9月13日（火）頃から開かれる予定です。

日程が正式に決まり次第、町ホームページなどでお知らせします。

議会ホームページもご覧ください

本会議開会中のライブ中継や常任委員会の開催日などもお知らせしています。

美幌町ホームページから「美幌町議会」をご覧ください。

QRコードからアクセスできます

こちら→



～全議員の政務活動費収支状況をお知らせします～

政務活動に要する経費（使途基準）

項目	内容
調査研究費	調査委託費、交通費、宿泊費等
研修費	会費、交通費、宿泊費、会場費、機材借上費、資料印刷費等
要請陳情等活動費	会場費、機材借上費、資料印刷費等
会議費	会場費、機材借上費、資料印刷費等
資料作成費	印刷製本費、原稿料等
資料購入費	書籍購入費、新聞雑誌購読料等
広聴広報費	広報紙等印刷費、送料、交通費等
事務所費	事務所の賃借料、管理運営費等
事務費	消耗品費、備品購入費、通信費等

美幌町では、議員一人当たり月額2万円の政務活動費が交付されています。議員活動をするうえで、必要な経費の一部として交付するもので、使途は資料購入費や広聴広報費などさまざまです。
各議員から令和3年度政務活動費収支報告がありましたので、お知らせします。

令和3年度政務活動費収支報告

令和3年度 政務活動費 使途別集計表

(単位：円)

交付番号 区分	第1号	第2号	第3号	第4号	第5号	第6号	第7号	第8号	第9号	第10号	第11号	第12号	第13号	第14号	合計	構成比
	戸澤義典	稲垣淳一	大江道男	高橋秀明	木村利昭	伊藤伸司	馬場博美	古館繁夫	藤原公一	坂田美栄子	岡本美代子	上杉晃央	松浦和浩	大原昇		
1 調査研究費													10,270		10,270	0.5%
2 研修費		45,385													45,385	2.3%
3 要請陳情等活動費					5,750										5,750	0.3%
4 会議費															0	0.0%
5 資料作成費															0	0.0%
6 資料購入費	91,016	159,706	32,600	46,050		110,910	60,772	91,044	134,362	114,000	96,555	9,972	59,400	27,572	1,033,959	52.8%
7 広聴広報費	55,541	26,600	243,307		78,082	78,082	78,082					171,167			730,861	37.3%
8 事務所費													40,619		40,619	2.1%
9 事務費	14,644	7,271					7,218				21,990	11,573	28,145		90,841	4.7%
収支報告合計	161,201	238,962	275,907	46,050	83,832	188,992	146,072	91,044	134,362	114,000	118,545	192,712	138,434	27,572	1,957,685	100.0%
返還金	78,799	1,038	0	193,950	156,168	51,008	93,928	148,956	105,638	126,000	121,455	47,288	101,566	212,428	1,438,222	
交付決定額(A)	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	3,360,000	
交付決定額(B)	161,201	238,962	240,000	46,050	83,832	188,992	146,072	91,044	134,362	114,000	118,545	192,712	138,434	27,572	1,921,778	
執行率(B÷A)	67.2%	99.6%	100.0%	19.2%	34.9%	78.7%	60.9%	37.9%	56.0%	47.5%	49.4%	80.3%	57.7%	11.5%	57.2%	

▼6月定例会においてコロナ対策関連予算を始め条例等を決め、意見書は人権問題のほか最近では最多の11件を可決しました。暑い季節ですが、議員全員元気でガンバッテいます。(秀明)

あしがき

▼新型コロナウイルス感染症が全世界に猛威を振るい始めて3年目。以前は程遠いと感じておられると思いますが、現時点で最大の防壁となるワクチン接種を積極的に、手指消毒と適時のマスク使用でコロナを追い出しましょう。

▼通信会社のトラブルにより通話のみならずあらゆる仕事で支障を来しました。便利と不便は紙一重、利便性を享受することは隣に不便も待っていることを心にとめておきましょう。

議会運営委員会
委員長 馬場博美
副委員長 戸澤義典
委員 岡本美代子
委員 上杉晃央
委員 高橋秀明